複雑なスケジュール調整をAIが自動化。上場企業の運営ノウハウを実装した訪問看護特化型AIスケジュールシステム『C+Route』、11月18日提供開始

スタッフのスキルや利用者ニーズを踏まえた最適スケジュールを自動作成。規模拡大後も定額で利用可能

2026年11月18日

Recovery International株式会社

訪問看護事業を展開するRecovery International株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：柴田 旬也、以下「当社」）は、訪問看護特化型AIルート最適化システム『C+Route（シールート）』の提供を2026年11月18日より開始することをお知らせいたします。

「C+Route」は、当社が訪問看護ステーション運営で培った高稼働率オペレーションのノウハウをAIに組み込んだ経営特化型のSaaSプロダクトです。訪問計画の自動最適化にとどまらず、専任コンサルタントによる伴走支援（BPaaSモデル）を組み合わせることで、管理者を中心とした在宅医療現場の業務負担軽減とステーションの収益力向上を同時に目指します。

背景と課題：訪問計画の作成負担とステーションの経営課題

超高齢社会の進展、病院中心の医療から在宅医療への転換、国の政策推進などを背景に、訪問看護の需要は年々高まっています。全国の訪問看護ステーション数も増加の一途をたどり、2026年４月１日時点では20,051か所と２万か所を超えました（※1）。

しかしその一方で、2025年度には廃止960件、休止328件（合計1,288件）が発生しており、年間約1,300か所近くが休止・廃止へ追い込まれているという厳しい現実があります（※1）。

また、厚生労働省の資料によれば、廃止の理由として「従業員確保が困難」（22.7%）、「管理職が退職した」（17.6%）、「人員基準に満たなくなった」（11.0%）などが上位に挙がっており、人材に関する課題が大きな比重を占めています（※2）。

当社は、こうした人材課題の背景のひとつとして、日々の訪問計画作成に伴う業務負担に着目しました。

ご利用者様の希望条件や処置内容、看護師のスキルや移動時間など、複雑な条件を調整する作業は管理者に集中しがちです。属人化した状態が続くと、管理者の疲弊や離職を招き、訪問件数の減少や収支の悪化を通じて、ステーションの経営継続を難しくする要因となりえます。

この度、当社は、自社の訪問看護ステーション運営で培ったノウハウを生かし、**AIによる訪問計画の作成から運用改善までを支援する「C+Route」**を開発しました。管理者の業務負担の軽減と経営改善の支援を通じて、訪問看護業界全体の持続的な発展に寄与することを目指します。

『C+Route』の主な特徴

1. バーティカルAIと独自ロジックによるスケジュール・シフトの自動生成

地理的条件だけでなく、看護師のスキルセットや利用者ニーズ、稼働効率を考慮した最適な訪問ルートを自動で作成、提案。日々のスケジュール作成時間を大幅に短縮し、移動時間を削減するとともに、訪問件数増加（稼働率向上）を目指します。

2. 成果創出まで支援する「BPaaS（SaaS＋伴走支援）」モデル

システムの導入にとどまらず、目標設定や運用ルールの設計支援、／さらには損益計算書（PL）の改善に向けたアドバイス（※3）まで、業界に精通した専任コンサルタントが伴走サポートします。

3. 導入しやすい従量課金型料金プラン

利用規模に応じた従量課金制を採用。固定費化を避け、訪問実績や稼働規模に連動させることで、事業規模の小さい立ち上げ期のステーションでも初期費用を抑えてスモールスタートでき、立ち上げ期のリスクを避けつつ、事業拡大に合わせて無駄のない運用が可能です。

今後の展望

当社は自社ステーションにおける多拠点運営を通じ、現場の課題解決と経営効率化の双方において多くの試行錯誤を重ね、実践的なオペレーションの知見を培ってまいりました。『C+Route』は、立ち上げ期や小規模な事業所でも初期負担を抑えて導入できるよう、事業規模や訪問件数に連動した段階制の料金プランを採用しています。

まずは日々のルート作成やスケジュール管理の効率化によって現場の業務負荷を軽減し、さらに当社の現場経験に基づく実践知と経営ノウハウを伴走支援にて提供することで、全国のステーションの運営力と経営基盤を底上げしてまいります。
今後は、AIアルゴリズムのさらなる高度化や外部システムとの連携を目指すとともに、医療領域の人材紹介事業を展開するグループ会社「株式会社RePath」とのシナジーを創出し、業界の深刻な課題である「医療従事者の採用・定着」までを見据えた総合的な支援体制を構築してまいります。
現場の生産性向上と事業所の経営安定化を両立させる本事業の推進を通じて、持続可能な在宅医療インフラの構築に寄与するとともに、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。
※1 一般社団法人 全国訪問看護事業協会「訪問看護ステーション数 調査結果
※2 厚生労働省「第259回社会保障審議会介護給付費分科会 資料3 訪問看護
※3 損益計算書（PL）の改善に向けたアドバイスについてはオプション機能

会社概要

【Recovery International株式会社について】
Recovery International株式会社は「もう一人のあたたかい家族」を企業理念に掲げ、在宅医療領域で最大限に時間を活かす仕組みを提供し、チームで"いきいき"と働く人を増やすことを目指す企業です。

・会社名　　Recovery International 株式会社
（英語名：Recovery International Co.,Ltd.）
・代表者　　代表取締役社長 柴田　旬也
・設　立　　2013年11月
・所在地　　東京都新宿区西新宿6-16-12 第一丸善ビル6F
・ＵＲＬ　　https://www.recovery-group.co.jp

■Recovery International株式会社
広報担当：広報チーム
Email：U_pr@recovery-group.co.jp
電話：03-5990-5882